

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成29年2月1日発行（第11号）

「英語教員リーダー育成事業」及び「小学校外国語活動推進事業」に係る 小学校外国語活動指導法研修会を開催



平成28年度小学校外国語活動指導法研修推進校である結城市立城南小学校（11月28日）、坂東市立岩井第一小学校（12月2日）、下妻市立総上小学校（1月18日）にて、小学校外国語活動指導法研修会を開催しました。本研修会は小学校教員の外国語活動の指導力の向上を目指して実施されたもので、管内全小学校の外国語活動推進リーダー教師（以下リーダー教師）が参加し、授業参観と研究協議を行いました。授業公開に向けては、専門指導員※各2名が推進校を訪問し、各校のリーダー教師や公開学級担任と共に指導案検討を重ね、プレ授業を行いました。以下に、下妻市立総上小学校での研修会の様子を紹介します。

※ 専門指導員 ハワイ大学で英語教授法を研修してきた中学校英語教員

～授業公開の内容～

| | |
|-------|--|
| 単元 | Hi, friends! 2 Lesson 8 |
| 本時の目標 | 自分の将来の夢を紹介する表現に慣れ親しむ。 （夢宣言） |
| 公開学級等 | 6年1組 担任 若山 竜也 教諭 リーダー教師 鈴木 仁子 教諭 |
| 専門指導員 | 染谷 志乃舞 教諭（常総市立石下西中学校） 小出 美沙 教諭（下妻市立東部中学校） |



元気に英語で夢宣言 ジェスチャーをつけて

～参考にしたい授業づくりの視点～

- 児童数14名という学級規模 “特色を最大限に生かす”
 - ・ 教師が児童一人一人と直接英語で対話する時間を、1時間の中で何度も確保し、児童の活動状況を的確に見取りました。全員が夢宣言したあと、一人一人が振り返りを述べました。
- ハワイ大学で学んだ理論から “インタラクションの充実”
 - ・ 児童から児童への授業始めの挨拶、これまで慣れ親しんできた“Wow!”“Really?”などの相づちや聞き返し、“That’s nice!”などのコメント表現を豊富に使用させています。夢宣言では、発表者の一方的な発表とせず、聞き手の児童も発表に対して英語で反応し、やりとりしながら聞かせるよう工夫されていました。それによって、互いに夢を伝え合いたくなる活動としていました。
- 平易な英語で “指示する、ほめる、コメントする”
 - ・ 日本語での長い説明を控え、終始易しい英語で児童に指示して活動を促しました。また、教師だけでなく児童も“Very good.”“Great.”などの英語でほめ合いました。

教職員一人一人のコンプライアンス意識を高めるために

～特色ある取組の一例「部活動経営チェックリスト」～ 資料提供：古河市立三和中学校

部活動経営チェックリスト ～細かい点について、各自、もう一度見直してみましょう～

- 部活動の開始時刻に活動場所に行っている（朝練も含む）
- 部活動終了後、生徒が安全に帰宅するまで（解散後30分）は学校で待機している
- 部員の練習前の準備状況を観察し、声掛けなどに活用している
- 1日（午前午後）の練習試合は計画的に行い、土日両方に入れないようにしている
- 生徒の実力にあった練習試合、遠征等を行っている
- 練習試合等では、全員の部員が試合に出られるように配慮している
- 試合に出ていない部員の頑張り目に目を向け、みんなの前で称賛するなどの配慮をしている
- 活動場所の整理整頓に心掛け、マナーアップクリーン作戦を実践している
- ペットボトルには必ずカバーを付けるなど中体連の決まりを遵守させている
- 試合の結果のみならず、あいさつや態度を重視した経営を行っている
- 部室の管理を顧問も責任をもって行っている
- 部活動の道具を大切にすることを育てる指導をしている
- 活動場所の安全面への配慮を毎回行っている
- 部員全員がすぐに言える部活動の原理原則のようなものを設定している
- 部員一人一人の学力の補償について気を遣っている
- 部費の集金、管理は保護者会で行っていると同時に、使い道を把握している
- 部活動が公教育の一環として行われていることを意識し、部費を節約している
- バス代、遠征・合宿費、送迎等で、保護者に過度な負担をかけないようにしている
- 練習試合や大会で送迎する保護者全員が保険に加入しているか把握している
- 練習試合、大会等は現地集合、現地解散はせず、学校集合、学校解散を遵守している
- 送迎の保護者に挨拶することを心がけている
- 保護者との連絡体制（メール配信、電話連絡網など）がしっかりできている
- 送迎や弁当作りをしてくれる保護者への感謝の心を部員にもたせるようにしている
- 終了時刻を守り、都合をつけて迎えに来た保護者を待たせることがないようにしている

◎部活動の経営者として、保護者からお預かりしている部員一人一人を大切にすることを忘れずに心がかけて、教育的な部活動経営を行いましょ！

【シリーズ「授業の中での人づくり」④】

～鈴木 典子 教諭 の実践～
桜川市立南飯田小学校



桜川市立南飯田小学校では、教育目標に「自ら進んで学び、豊かな心で、たくましく成長する児童の育成」を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。鈴木典子教諭は、国語科を中心に、単元と本時の導入における指導過程を工夫することにより、授業の工夫改善に努めています。



【一手間一工夫のポイント】

～『納得解』を実感できる授業とするためのポイント～

導入の工夫

【実践例】第3学年 国語「はりねずみと金貨」
物語のあらすじを書いて、友達と本を紹介し合おう。
目標：あらすじの書き方が分かり、自分の紹介したい物語のあらすじを書いて友達に伝えることができる。

明確な目標をもって言語活動に取り組むことのできる児童の育成

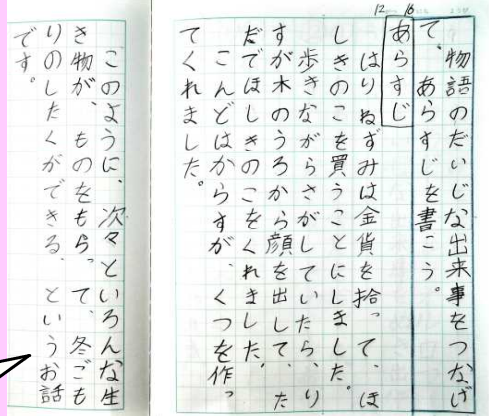
| 単元の導入の工夫 | 指導過程 | 本時（第3時）の導入の工夫 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の民話の絵本を読み聞かせる。*1 ○ 本の紹介カードの実物を紹介する。 | <p>STEP 1 見通しをもたせる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ あらすじの書き方の手本を見せ本時のゴールを明確にする。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末の学習目標（単元のゴール）を振り返りカードで確認する。 ○ これから身に付けていく言葉の力*2を教科書で確認する。*2 単元で身に付ける言語事項 | <p>STEP 2 学習目標を知らせ身に付けたい力を確認する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 板書とノートへの記入で本時の学習目標を意識付ける。 ○ 本時の学習の単元での位置付けを振り返りカードで確認する。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 前単元までに行った言語活動を掲示物で確認する。*3 | <p>STEP 3 既習事項を確認する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の学習を振り返り、本時の活動との関連付けをする。 |



*1 読み聞かせをする鈴木教諭



*3 時系列で掲示した前単元までの言語活動



大事な言葉を押さえ、友達に伝えるようにまとめた児童のノート

～鈴木 教諭 から～

授業では、2つの導入を大切にしています。1つは第1次第1時での単元の導入、もう一つは1時間ごとの授業の導入です。今回ご紹介したSTEP1からSTEP3の導入の工夫は、学習目標と児童の実態を照らし合わせ、最適な形で提示できるよう教材研究をしています。これらのステップを着実に積み重ねることにより、児童は明確な目標をもって言語活動に取り組むことができました。さらに実践を重ねることで、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるよう、より効果的な導入方法を探究していきたいと考えています。

切れ目のない組織的な支援の充実を目指して

～不登校援助指導状況調査報告より～

○ 不登校援助指導状況調査報告からみた不登校の現状と各校の取組について

昨年度と比較し、小・中学校ともに不登校児童生徒数が増加の傾向にあります。態様区分別で見ると、小・中学校ともに身体の不調や漠然とした不安を訴えて登校できない等の理由が増加傾向にあります。特に、中学校では、学校生活に起因するものや無気力など、2つ以上の複合した要因により登校できない生徒も多くみられます。また、小学校では、家庭の事情で欠席が長期化しているケースが増加しており、教育支援センター（適応指導教室）、医療機関、市町福祉関連機関等の複数の関係機関と適切に連携しながら解消に向けた支援を進めることが一層大切なものとなっています。さらに、各市町や県派遣のスクールソーシャルワーカー、いじめ解消サポーター（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）を活用し、その専門性を生かした児童生徒・保護者への関わりが、不登校対策に成果をあげている学校もあります。

○ 次年度に向けて

各学校においては、本年度の取組の成果と課題を踏まえ、次年度に向けた支援体制の改善・強化をお願いします。校内組織を生かした取組に加え、学校外の関係機関等との「横」の連携、小学校・中学校・高等学校等の「縦」の連携を図り、切れ目のない組織的な支援の充実を目指しましょう。

2月の予定

- 3日(金) 道徳教育パワーアップ研究協議会（中学校等）（つくば市立ノバホール）
- 4日(土) いばらきっ子郷土検定県大会（県民文化センター）
- 11日(土) 「だいすき わがまち自慢作文・学校ホームページ」優秀作品表彰式・発表会（県庁）
- 15日(水) 教育課題に対応するためのリーダー養成研修講座（筑西合同庁舎 分庁舎）